

■奈良県公式ホームページリニューアル及び運用保守業務に係る提案書評価表

提案書は、入札仕様書の使用内容に基づき、以下の提案項目について作成すること。

	番号	項目	提案を求める内容	評価のポイント	項目 評価点	傾斜 倍率	項目 技術点
					a	b	a×b
提案書およびプレゼンテーションによる評価	1	本事業に対する取り組み方針	本事業を受託するにあたっての、基本的な考え方、具体的な取り組み方針について、以下の事項を踏まえ記載すること。 ・基本的な考え方 ・本県の現行HPの課題およびその解決策 ・本県の特徴を踏まえたリニューアル方針 など	・本業務の目的、リニューアルの背景を踏まえた方針が示されているか。 ・「基本構想」の内容を踏まえた、具体的な取り組み方針が示されているか。 ・本県の課題や特徴を踏まえたリニューアル方針が示されているか。	5	10	50
	2	CMSの特徴	提案するCMSの特徴について、以下の事項を踏まえ記載すること。 ・提案するCMSの特徴、他製品より優れている点 ・デザイン面での自由度、カスタマイズ性 ・操作感、更新作業にかかる職員負担について など	・提案するCMSの特徴や強みを、具体的な説明を併せて記載されているか。 ・デザイン面での自由度や、カスタマイズ性、操作性など、本県の課題を解決するために有効と思われる強みについて示されているか。	5	15	75
	3	デザイン方針・サイト構成	デザイン方針およびサイト構成について、以下の事項を踏まえ記載すること。 ・奈良県の特徴や魅力を最大限に活かしたホームページデザイン ・ユーザが必要な情報にアクセスしやすい、サイトの構造、情報分類体系について ・サイト全体のデザイン、トーン&マナーの一貫性、ブランドイメージ向上について ・スマートフォン・タブレットへの対応、回遊性を高める工夫 など	・奈良県の特徴や魅力を活かしたホームページデザイン案が提示されているか。 ・ユーザ目線で必要な情報を入手しやすいホームページとするための考え方および方針について具体的に示されているか。 ・サイト全体の統一感を高め、ブランドイメージを向上させるための有効な方針について示されているか。 ・スマートフォンやタブレットへの対応、回遊性を高める工夫等について具体的な提案がなされているか。	5	18	90
	4	サブサイト統合	サブサイト統合について、以下の事項を踏まえ記載すること。 ・サブサイトの独自性とカスタマイズ性の維持 ・県全体で統一感のあるデザインと機能性を実現する具体的な方法 ・県公式ホームページへ統合しないサブサイトも含めて、各サブサイトへユーザを誘導するための工夫について など	・サブサイトの独自性・カスタマイズ性を維持しつつ統合するための具体的な方法について示されているか。 ・上記に加え、県公式ホームページとしての統一感を出すための具体的なかつ実効的な方法が提案されているか。 ・各サブサイトへユーザを誘導するための具体的なかつ有効な提案が示されているか。	5	15	75
	5	データ移行	データ移行方法について、以下の事項を踏まえ記載すること。 ・大量のデータ（メイン・サブサイト）を期間内に移行するための具体的な方策 ・県と受託者の役割分担 ・県職員の負担を軽減するための工夫 ・アクセシビリティ上の問題やリンク切れ等を解消しながらデータ移行を行うための工夫 など	・大量のデータを期間内に円滑に移行するための具体的な方法について提案されているか。 ・データ移行にあたって、県職員の負担を軽減しながら移行するための方法について記載されているか。 ・現行ホームページで課題となっている、アクセシビリティ上の問題やリンク切れ等を解消しながら、データ移行を行うための具体的なかつ実効的な手法が提案されているか。	5	8	40
	6	緊急災害時の考え方・運用方法	緊急災害時の考え方・運用方法について、以下の事項を踏まえ記載すること。 ・災害時の画面構成・イメージ ・災害時の運用方法について ・「奈良県防災ポータル」との連携について など	・緊急災害時、ユーザ目線で情報を入手しやすいホームページとするための具体的なかつ有効な提案がなされているか。 ・「奈良県防災ポータル」と連携した情報発信手法について、具体的な提案がなされているか。	5	8	40
	7	アクセシビリティの確保	アクセシビリティに対する考え方や具体的な取り組みについて、以下の事項を踏まえ記載すること ・アクセシビリティ確保・維持のための具体策 ・職員が容易にアクセシビリティ対応できるための工夫	・アクセシビリティの確保・維持のための具体的なかつ実効的な方法が提案されているか。 ・今後、職員が容易にアクセシビリティ対応できるようにするための有効な手法が提案されているか。	5	8	40
	8	動作環境	本システムの動作環境について、以下の事項を踏まえ記載すること。 ・機器構成図、ネットワーク構成図、およびその設計思想について ・耐障害性について考慮している点 など	・提案する動作環境について、明確な設計思想が示されているか。 ・情報セキュリティについて、十分に考慮されたものとなっているか。 ・耐障害性について、十分に考慮されたものとなっているか。	5	4	20
	9	体制	本業務の履行体制について、以下の事項を踏まえ記載すること。 ・責任者、担当者を含めた開発体制 ・責任者、各担当者の保有する資格、過去に携わったHP構築業務実績 ・本システムを安定的に運用するための運用保守体制 ・障害発生時の連絡及び対応体制 など	・本業務を円滑に進めるために十分な人員が配置されているか。 ・十分なスキル・経験を持った人員が配置されているか。 ・運用・保守にあたって、障害発生時や不足の事態にも対応できる十分な体制が提案されているか。	5	4	20
	10	スケジュール	本業務を円滑に進め、期間内にリニューアルを完了するためのスケジュールについて記載すること。 ・データ移行期間 ・職員への研修期間 ・現行システムとの並行稼働期間 など	・期間内に本業務を完了するための具体的なかつ現実的なスケジュールが示されているか。 ・進捗管理方法は具体的なかつ妥当性があるか。	5	4	20
11	システムの運用・保守	システムの運用・保守について、以下の事項を踏まえ記載すること。 ・保守の実施体制や内容 ・保守の中で、ホームページの品質を維持・向上させるための取り組み ・セキュリティに対する考え方 ・障害発生時の復旧、大規模災害発生時の対応 など	・本システムを安定的に運用・保守するための具体的な実施体制・方法について提案されているか。 ・ホームページの品質を維持、向上させるための具体的なかつ実効性の高い提案がなされているか。 ・セキュリティ確保のための具体的な方法が提案されているか。 ・障害発生時、大規模災害発生時にも対応できる、十分な体制が提案されているか。	5	6	30	
CMS機能要件表による評価	12	機能の実現性	「(別紙4) CMS機能要件」に基づき、機能の実現性を評価 「必須」項目については、絶対要件であり、入札金額内で実現すること。 「任意」項目については、絶対要件ではないが、実現可否を点数化し項目技術点として評価する。(採点方法の詳細は、「(別紙4) CMS機能要件」を参照)				100
	技術点合計						

【「技術点」の算出方法】

提案を求める項目単位に評価を行う。

ア 「傾斜倍率」の考え方

提案を求める項目単位の重要度に応じて、それぞれの傾斜倍率を設定する。

イ 「項目評価点」の考え方

項目1から項目11までについて、提案を求める項目単位の採点は0～5点までの加点方式または減点方式で評価する。

項目12については、「(別紙4) CMS機能要件」に基づき項目評価点を算出する。

提案を求める項目について提案書に記述がない場合には「0点」とする。

ウ 「技術点」の計算

「技術点」の計算は以下の式で行う。

$$\text{項目技術点} = \text{項目評価点} \times \text{傾斜倍率}$$